

万博公園探鳥会

2024年5月11日(土)

リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美
玉置こるり・有賀憲介・平軍二(090-6901-1425)

I 千里の鳥・万博の鳥「ニューナイスズメ」

↓ 橋本昌宗



雄 ニューナイスズメ (20240413)

雌

先月(4/13)万博公園探鳥会で観察したニューナイスズメ、その後も4月後半まで園内にいて、観察できた。大阪府内ではニューナイスズメが冬鳥として越冬している所が多いが、万博公園で観察できるのは毎年4月中旬～下旬の渡りの季節にのみである。留鳥で同属のスズメとのちがいは、スズメが頬にある黒い斑点が、ニューナイスズメにはないことからわかる。

ニューナイスズメの体長は14cmとスズメ(14.5cm)よりやや小さいが、雄は額～後頸～背の栗茶色で鮮やか、雌は雄よりも栗茶色が鈍いが、眉斑がはっきりして愛らしい。しかもスズメより鳴き声がにぎやかで、群の動きも活発である。

20年ほど前、万博公園のニューナイスズメはサクラで観察され、花の蜜を求めていた。最近ではサクラの花が早く咲くようになったこともあり、写真のようにクヌギ・アベマキの花に集まっていて、花につく昆虫の幼虫(いもむし類?)を探していると思われる。

ニューナイスズメの名前は、新しい穀物を新嘗(にいなめ)というが、人より先にこの新嘗を食べる鳥として「ニイナメスズメ」、転じて「ニューナイスズメ」になったとのことである(★)。

文献★ 国松俊英「名前といわれ日本の野鳥図鑑」(1995年)偕成社

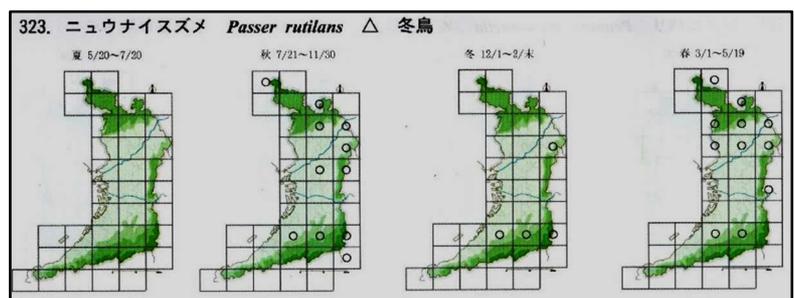
このニューナイスズメ、来春には再び万博公園に、渡来してくれることを楽しみに待ちたい。

I-① 大阪府のニューナイスズメ

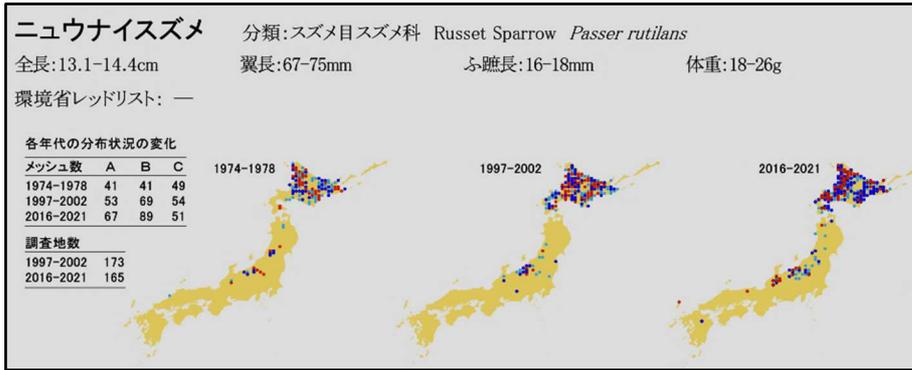
大阪府鳥類目録 2016(日本野鳥の会大阪支部)

上述の通り万博公園のニューナイスズメは春のい渡り鳥であるが、大阪府全体では冬鳥として10月～5月に観察されている。

しかし右図では真冬期(12～2月)に観察記録が少なく、春の渡りの季節に一番よく観察されているので、万博公園のようなところが多いと思われる。



I-②日本での繁殖状況 全国鳥類繁殖分布調査報告 2016-2021年 (鳥類繁殖分布調査会)



30年前大阪支部が長野県戸隠高原に探鳥ツアーを行っていた頃、そこで、ニューナイスズメが営巣を観察していた。左図から日本では北海道に最も多く繁殖していることがわかる。

II 先月 2024 年 4 月万博探鳥会結果 (写真:橋本昌宗)

3か月連続で太陽の塔の避雷針に止まるチョウゲンボウを見てスタートした。今年は春の渡り鳥が早いようで、コサメビタキ 3羽、キビタキ1羽、アカハラ 3羽、そしてニューナイスズメは 11羽だった。日本庭園で見たアカハラは眉線が良く見え、マミチャジナイかと思われたが、写真拡大で目の回り、背中の色などからアカハラであるとわかった。3月探鳥会で確認され、今月の資料に特集した入れたハチジョウツグミはいなかった。今冬「水すましの池」上流で越冬したタシギ、探鳥会時に確認できなかったものの、終了後大矢さんにより 2羽いることは確認されたので追加した結果トータル 37種と、この季節としては収穫のある探鳥会となった。



上左 アカハラ 上中コゲラ 上右コサギ 下左ツグミ 下中シロハラ 下右ジョウビタキ



Ⅲ 万博公園のキジ(樹林の変遷と鳥)

万博公園にキジが多かったことは、これまで何回も説明しているが、そのキジが万博公園探鳥会では1998年以降の全く観察されておらず、その後は、春の渡り鳥早朝調査で2012年4月に1回観察されたのみで、その後は全く記録がない。

1990年代万博公園にキジが目に見えて少なくなったことから、万博公園事務所(当時の日本万国博覧会記念協会)に対し、「園内管理が行き過ぎているのではないか。万博公園の環境管理をゆるくし、もう少し放置しておく方が良いのではないかと、お願いしたことがあった。

たまたま、2005年に「万博公園探鳥会20周年記念誌」をまとめるにあたり、当時の「独立行政法人日本万国博覧会記念機構」より、年代の異なる2枚の航空写真利用を許可していただき、万博公園は樹林の生長で草原の鳥が住む環境が無くなり、キジがいなくなったことを知った。

1981年

植えられた木、「1本1本が見える」



↑ 植えられた木が小さく、木々の隙間が草原状態で、キジの天国となっていた。

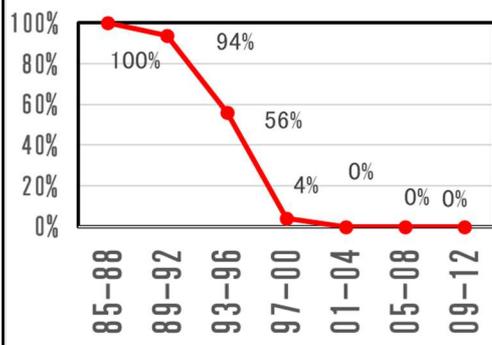
1985(or86)年春の探鳥会で、キジの「ケーン・ケーン」をカウントし、50回を超えたことがあった。



1992年

こんもりした森、「草原が無い」

キジ観察頻度(万博公園探鳥会)



20120419 早朝調査時にキジ
(廣瀬達也氏)

万博公園で記録された最後のキジ

IV 万博公園探鳥会観察種 チェックリスト

種名	2023年						2024					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1 24 オシドリ			7	9			2	2	25			24
2 26 オカヨシガモ												26
3 27 ヨシガモ	1											27
4 28 ヒドリガモ												28
5 30 マガモ	1						2			2		30
6 32 カルガモ	23	14	28	16	5	4	32	26	28	9		32
7 35 オナガガモ												35
8 38 コガモ												38
9 42 ホシハジロ									1			42
10 46 キンクロハジロ				2			1	2				46
11 58 ミコアイサ												58
12 62 カイツブリ	10	6	10	6	3	1	4	7	1	3		62
13 74 キジバト	3	3	7	9	4	7	5	1	4	8		74
14 78 アオバト	8	14	3					5	1			78
15 127 カワウ	2	5	13	9	13	14	3	6		8		127
16 139 ゴイサギ						1						139
17 144 アオサギ	2	2	2	1	4	1	2	1	2	1		144
18 146 ダイサギ						1		1	1			146
19 148 コサギ	2	2	2					5	2	3		148
20 166 クイナ												166
21 174 バン				1								174
22 175 オオバン			1									175
23 187 ツツドリ												187
24 192 アマツバメ												192
25 195 ケリ												195
26 202 イカルチドリ												202
27 203 コチドリ												203
28 219 タシギ							2	2	2	2		219
29 244 イソシギ												244
30 286 ユリカモメ												286
31 339 ミサゴ							1	1				339
32 340 ハチクマ												340
33 342 トビ								1				342
34 354 ツミ												354
35 355 ハイタカ			2				3	1	1			355
36 356 オオタカ		1			1		1	4				356
37 357 サシバ												357
38 358 ノスリ			1						1	1		358
39 383 カワセミ	2	2	5	2	1	4	4	2	6	1		383
40 388 アリスイ				1								388
41 390 コゲラ	6	2	5	4	8	8	5	5	2	5		390
42 401 チョウゲンボウ		1						1	1	1		401
43 407 ハヤブサ												407
44 412 サンショウクイ												412
45 418 サンコウチョウ												418
46 420 モズ	3	2	3				2	1	1			420
47 435 ハシボソガラス	4	7	2	14	23	14	15	7	5	13		435
48 436 ハシブトガラス	71	89	71	21	13	36	32	38	48	34		436
49 442 ヤマガラ	7		3	2	10	5	4	8	2	2		442
50 445 シジュウカラ	21	13	18	12	29	16	14	18	17	23		445
51 457 ツバメ			1	12	34	10			6			457
52 459 コシアカツバメ						1						459

種名	2023年						2024					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
52 463 ヒヨドリ	60	31	30	4	15	8	67	52	26	13		463
53 464 ウグイス	2	2	5	7	8	6	2	1	5	11		464
54 465 ヤブサメ												465
55 466 エナガ					18	10	8	9	6	2		466
56 476 オオムシクイ												476
57 477 メボソムシクイ												477
58 479 エゾムシクイ												479
59 480 センダイムシクイ												480
60 485 メジロ	30	5	7	5	23	18	6	4	7	8		485
61 492 オオヨシキリ												492
62 501 ヒレンジャク												501
63 506 ムクドリ			1	37	5	1	14	2	1	4		506
64 508 コムクドリ												508
65 514 トラツグミ								1				514
66 521 シロハラ	20	15	22	13			1	3	4	8		521
67 522 アカハラ											3	522
68 525 ツグミ	134	49	62	29			138	3	44	35		525
69 530 コマドリ												530
70 536 ルリビタキ	3	1								1		536
71 540 ジョウビタキ	3	5	3			1	7	3	5	1		540
72 542 ノビタキ												542
73 549 インヒヨドリ	1							1	1			549
74 552 エゾビタキ												552
75 554 コサメビタキ											2	554
76 558 キビタキ					2	3				1		558
77 561 オオルリ												561
78 568 ニュウナイスズメ				4							11	568
79 569 スズメ	39	60	30	13	32	37	31	32	4	21		569
80 573 キセキレイ	2	1		1								573
81 574 ハクセキレイ	12	9	21	13	12	8	16	12	15	9		574
82 575 セグロセキレイ				2			4	2		1		575
83 580 ビンズイ	3											580
84 584 タヒバリ												584
85 586 アトリ	65	40	11	44			18	31	32	2		586
86 587 カワラヒワ	21	51	23	9	5	20	81	97	65	10		587
87 600 シメ		3					8			2		600
88 602 イカル		4		2								602
89 610 ホオジロ												610
90 617 カシラダカ												617
91 624 アオジ	4	4		2			2		2	2		624
92	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
93 ソウシチョウ												
94 カッコウSP												
95 ムシクイSP												
96 タカSP												
97 37 トモエガモ								3				37
98												
99												
種類数(種)	32	31	31	32	23	26	36	39	36	37		
個体数(羽)	565	443	399	308	268	235	538	398	369	268		
天候	晴	晴	晴	曇雨	曇雨	曇	晴	晴	曇	晴		
参加者数(人)	4	33	23	22	18	29	23	34	35	31		

V 来月の万博公園探鳥会 6/8(土)

2023年に比し2024年の種数が多い

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定
 内容 留鳥が子育て真っ最中。親鳥とほぼ同じ大きさになったにもかかわらず、親に甘えている鳥の子供たちを見ると、身につまされる思いがする。

参加予定の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みのこと
 ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール g.0501.hi@gmail.com 連絡ください